

スマイリング Smiling

思いをカタチに とともに創る 笑顔の学校

子どもたちの表情に確かな変化が…

互いに探究し合い 深い学びと 信頼の絆



「学校運営協議会」への理解をさらに広めます

三川町が学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）を取り入れて3年目を迎えます。協議会制度を取りいていることを知っていた保護者は35%。協議会が、どのように学校運営に関わっているかについては7割ほどの方が知らないという結果でした。

年間3回の協議会では、第1回の協議会で、校長先生から学校運営の方針が提示され質疑後に承認をします。第2回協議会では、委員が学校を訪問し学校運営の状況を聞き取ります。第3回の協議会では、今年度の学校運営の課題と次年度の取り組み方について意見交換し次年度に活かします。このように、学校運営に地域の声が届くようにし、また、地域ができる学校の支援を考え実行に移しています。

これまでの記録は「三川町ホームページ」に載せています。

三川町HP → 暮らし → コミュニティ・スクール をご覧ください。

第2回学校運営協議会が各学校を会場に開催されました

(学校運営状況の報告で話題になったことを一部まとめました)

横山っ子ネットワーク協議会

学習指導要領において、「考える・表現する」などの領域が増え、「気づき」を大切にした授業に先生たちが力を入れていることがわかった。これまでの学校行事を、授業に組み込み、子どもに接する時間の確保をめざしていることに感謝したい。保護者に、行事のどの部分が授業で行うようにしたかわかるようにしてほしい。



おらほの学校づくり協議会

1年生から学習にしっかり向き合い集中している姿に驚いた。学年を増すごとに成長が感じられる。タブレットと板書を有効に活用し、「書く」こと「文章をつくる」ことにも力を入れていることに感謝したい。凧づくりや相撲大会などの伝統行事を、子どもや保護者の負担にならないよう時代にあわせた取り組みに変えている。

こうふく押切っ子協議会

隣同士やグループでの意見交換ができる座席配置に変わったことで、子どもたちの表情が大きく変わり、落ち着いた深い学びになっているようだ。コーディネートする先生方の苦勞に感謝したい。学年交流、また、その意見交流も今後の子どもの成長に楽しみである。段階的に進めている2月からの全校給食にも期待したい。



三川中学校学校運営協議会

自分は頑張ったからそれでいい。人と競い合うことは望まず、また、結論を早くだしたがる今時の生徒たちに、時間を与え、多様な考えを引き出そうと努力している教師集団に感謝したい。地域行事や地域事業へ中学生が参画する機会を広め、地域とのつながりを構築していきたい。



※協議会の議事録は、三川町HPに掲載しています。